



自民党・無所属 大阪府議団だより

災害に強い大阪へ

はら だ

原田りょう府議が 主に災害復旧に向けた政策を提言

大阪北部地震、7月豪雨、台風など、災害の被害に遭われた皆様へ、心からお見舞い申し上げます。一連の災害の教訓を生かし、災害に強い大阪をつくるべく、大阪府議会の今定例会において、原田りょう議員が松井知事をはじめ担当部長へ一般質問を行いました。

プロフィール 箕面市・豊能郡選出

昭和61年8月23日生まれ32歳 子育て奮闘中! / 私立智辯学園高等学校 卒業 / 大阪大学法学部法学科(政治専攻) 卒業 / 自民党政治大学校なほ塾 卒業 / 被災支援団体ACTION 前代表 / 衆議院議員事務所 勤務 / 箕面市議会議員(全国最年少25歳で当選) / 大阪府議会議員(全国都道府県議会議員最年少28歳で当選) / 自民党大阪府連青年部長 / 自民党大阪府議団副政務調査会長

箕面

Q. 原田議員

1年以上も通行止めになっていた箕面滝道が、11月1日に交通開放される。箕面公園に再び賑わいを取り戻すため、大阪府としても積極的にPRすべき。また、箕面滝道は、土砂災害特別警戒区域に指定されており、今後も災害のたびに倒木等で電柱が倒れ、停電や通行止めが発生しないよう、電線の地中化を実施できないか。



箕面滝道

A. 都市整備部長

今後、紅葉や大滝、川床などの公園の魅力について、大阪観光局のHPへの掲載や観光案内所でのチラシ配布などを通じ、国内外へも広く発信するとともに、沿線鉄道事業者にも協力を求め、箕面公園に一日も早く賑わいが戻るよう、積極的なPRを実施していく。箕面滝道の、災害時の安定的な電力供給、通信確保については、単独地中化方式などの災害の影響を受けにくい方法や滝道以外のルートへの二重化など、電気事業者や電気通信事業者に働きかけていく。



災害対策本部にて倉田哲郎市長と協議

豊能

Q. 原田議員

豊能町が計画する「道の駅」について、新名神高速道路供用という絶好の機会を捉え、豊能町の地域活性化や更なる魅力向上のために、大阪府として豊能町の「道の駅」設置に向けた取組みに対し、しっかりと支援をすべき。



主な被災箇所を全て確認

A. 都市整備部長

大阪府として、豊能町が「道の駅」の要件を満たす事業計画となるよう、国との協議・調整を行うなど、豊能町の取組みを支援していく。

能勢

Q. 原田議員

昨年10月の台風21号で大規模な地滑りが発生し、長期間通行止めとなっていた国道173号の能勢町天王地区、篠山市福住地区が、9月28日に交通開放された。しかし、今年7月の豪雨により、山辺地区で、大規模な道路崩壊が発生し、現在、約4kmの区間が通行止めとなっている。国道173号は、大阪府と兵庫県を結ぶ府県間道路で、広域緊急交通路に指定されている重要な道路であり、一刻も早い復旧を求める。



国道173号

A. 都市整備部長

早期に国道173号を交通開放するため、仮橋設置による暫定的な復旧方法について、国と協議を進めてきた。このたび、国により仮橋設置が認められたところであり、今後、応急復旧工事をすすめて、12月中旬に片側交互通行での暫定的な交通開放をめざすとともに、早期本格復旧に向け、全力で取り組んでいく。

他にも、質問や要望をしました。

病院や福祉施設などは、停電が命に関わる施設であり、あらかじめ関西電力に福祉施設に対する優先復旧を要請する仕組みの構築

今回の7月豪雨や台風21号など大規模な災害が発生した場合、被害が集中した市町村の災害復旧の費用負担が大きく復旧作業がなかなか進まない状況にあり、手厚い支援措置を講じるよう要望

性的マイノリティの人権問題の解決に向け、理解増進と差別禁止の取組みを積極的に進めるよう指摘

